

別冊

令和3年度 伊豆市当初予算

重点事業 参考資料

令和3年度一般会計当初予算 重点事業

区分	新規	継続	拡充	廃止	事業名	予算額 (千円)	担当課	No.		
本格的な人口減少社会の到来に向けた戦略的対応	結婚から子育てまで 切れ目のない支援	●	●			戦略的プロモーション事業	8,287	総合戦略課	1	
		●	●	●		移住定住促進事業	61,030	総合戦略課	2	
		●				伊豆総合高校土肥分校下宿運営事業補助金	3,000	総合戦略課	3	
		●				産前産後ママ応援事業	265	子ども課	4	
				●		にじいろ子育て応援事業(産後ケア事業)	400	子ども課	5	
				●		修善寺東子ども園における受入年齢の引き下げ	57,613	子ども課	6	
		●	●			育てて育つ事業	3,837	子ども課	7	
		●	●			子育て援助活動支援事業(ファミリーサポートセンター)	335	子ども課	8	
		●				狩野川記念公園遊具更新事業	13,000	社会教育課	9	
	教育の充実		●			GIGAスクール推進事業	22,079	学校教育課	10	
			●			通学・就学支援関連事業	90,955	総合戦略課 学校教育課	11	
			●			新中学校整備事業	980,055	学校教育課	12	
			●			児童複合施設整備事業	6,160	学校教育課	13	
	福祉・医療の充実	●				重層的支援体制移行準備事業	918	社会福祉課	14	
		●	●			就労支援事業(被保護者・重度障害者)	8,089	社会福祉課	15	
		●	●			被保護者健康管理支援事業	2,237	社会福祉課	16	
		●	●			移動支援事業(地域生活支援事業)	1,370	社会福祉課	17	
			●			病院群輪番制病院設備整備事業費補助金	1,833	健康支援課	18	
			●			二次救急病院設備整備費補助金	7,500	健康支援課	19	
			●			公的病院移転新築事業費補助金	600,000	健康支援課	20	
	安全・安心な まちづくり		●	●			バス・タクシー等利用助成事業 (高齢者・重度心身障害者)	29,365	総合戦略課 社会福祉課 長寿介護課	21
			●	●			有害鳥獣被害対策事業	35,848	農林水産課	22
			●				食肉加工センター管理運営事業	26,828	農林水産課	23
			●				地域公共交通網形成計画策定事業	8,932	総合戦略課	24
			●	●			廃棄物流入対策事業(平和寺関係)	4,363	財務課 環境衛生課	25
			●				新リサイクルセンター整備事業	30,140	環境衛生課	26
		●		●			防災防犯カメラ設置関連事業	7,474	総務課 防災安全課	27
			●				デジタル同報系防災行政無線整備事業	905,025	防災安全課	28
			●	●			ハザードマップ作製事業	13,141	防災安全課	29
			●				日向公園(防災公園)整備事業	50,000	都市計画課	30
			●	●			TOUKAI-0推進事業	21,616	都市計画課	31
			●				市道整備事業	510,851	建設課	32

区分		新規	継続	拡充	廃止	事業名	予算額 (千円)	担当課	No.	
本格的な人口減少社会の到来に向けた戦略的対応	人口減少の抑制戦略	地域の魅力創造	●				東京オリンピックパラリンピック関連事業	61,527	東京オリパラ課	33
			●	●			産業強化事業	36,914	観光商工課	34
			●	●			企業誘致推進事業	32,935	観光商工課	35
				●			わさびの郷構想推進事業	3,959	農林水産課	36
				●	●		いずっこ健全育成事業	2,561	社会教育課	37
			●	●			文学のふるさと事業	81,890	観光商工課 社会教育課	38
			●	●			観光施設整備事業	165,732	観光商工課	39
				●	●		地域おこし協力隊推進事業	29,785	農林水産課	40
	人口減少の適応戦略	未来を切り拓くためのまちづくり		●			(再掲)新中学校整備事業	(再掲)	学校教育課	-
				●			(再掲)日向公園(防災公園)整備事業	(再掲)	都市計画課	-
				●			牧之郷駅周辺整備事業	158,008	都市計画課	41
				●			湯ヶ島まちづくり構想策定事業	1,500	都市計画課	42
			●				立地適正化計画基礎調査事業	6,200	都市計画課	43
			●				旧土肥小学校利活用事業	81,800	総合戦略課	44
			●			地域づくり交付金事業	53,795	総合戦略課	45	
			●			花いっぱい事業	4,309	農林水産課	46	
将来にわたる安定的な財政運営の堅持	歳入の確保	収納の強化	●	●			収納率強化事業	14,956	税務課	47
				●			市営住宅管理事業(滞納整理)	452	用地管理課	48
		財源の確保			●		ふるさと納税促進事業	337,259	財務課	49
			●				戦略的プロモーション事業(シティセールス部門)	1,639	総合戦略課	50
			●	●	●		(再掲)移住定住促進事業	(再掲)	総合戦略課	-
			●	●			(再掲)企業誘致推進事業	(再掲)	観光商工課	-
	歳出の抑制	公共施設の適正化		●			広域廃棄物処理施設整備事業	2,143,390	環境衛生課	51
					●		消防団宿詰所解体事業	4,378	防災安全課	
				●			虹の郷借地解消事業	76,286	観光商工課	
			●				市営住宅転居補償	400	用地管理課	52
					●		修善寺体育館解体事業	110,000	社会教育課	
					●		修善寺グラウンド照明塔LED化事業	33,231	社会教育課	
		事務事業の見直し	●				議事録作成システム導入	3,410	総務課	53
			●				行政用チャットシステム導入	1,320	総務課	
●				総合的アウトソーシングの検討	-	総務課				
		●		職員採用試験の見直し	477	総務課				
			●	確定申告における税理士派遣の廃止	-	税務課				
			●	住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付事業の廃止	-	環境衛生課				

事業名	戦略的プロモーション事業	新規	○	予算額	R3	8,287 千円	担当課 (室)	総合戦略課
		継続	○		R2	0 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

- 「総合計画・総合戦略推進事業」や「その他事務事業」に計上していたシティプロモーション関連予算を集約し、第2期総合戦略に位置付けられているプロモーション、関係人口、企業版ふるさと納税を強く推進する。
- 「プロモーション」、「婚活」、「関係人口」の3本柱で構成し、人口減少抑制戦略、適応戦略に対応した事業をしっかりと推進する。

2 事業概要

【婚活部門】

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
【新規】 ①婚活イベント支援業務委託料	未婚率解消に向け、結婚相談の会会員及び伊豆市消防団向けの婚活イベントを実施。	2,000
【新規】 ②婚活応援冊子等支援業務委託		420
【新規】 ③婚活ポスター	イベントは駿河湾フェリーの活用のほか、婚活応援事業者(ラフォーレ、ワイナリー)との連携を予定。	31
【新規】 ④婚活応援冊子	また、イベント時に使用する応援冊子を作成することでの側面支援と伊豆市が婚活を応援することの見える化を図る。	58
		合計 2,509

【プロモーション部門】

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
【継続】 ①大型看板用デザイン作成業務委託料	第2期総合戦略に基づく子育て支援の見える化及び情報発信	940
【新規】 ②鉄道駅広告看板掲出委託料	・三島駅大型看板、改札口デジタルサイネージの継続	1,935
【継続】 ③子育てプロモーション作成業務委託料	・修善寺駅への大型看板の設置(駅構内、駅構外2箇所を検討)	2,310
【新規】 ④デジタルサイネージ設置	・広義の子育て支援として社会教育、学校教育部分のプロモーション撮影⇒全10本に	280
【新規】 ⑤新規名刺デザイン作成業務委託料	・虹の郷へのサイネージを設置し、更なる見える化を図る	255
【新規】 ⑥ポスター2種	・職員名刺で「#伊豆市いいね」や「育てて育つ」をPR(オリパラ終了後)	58
		合計 5,778

事業名	移住定住促進事業	新規	○	予算額	R3	61,030 千円	担当課 (室)	総合戦略課
		継続	○		R2	55,793 千円		
		拡充	○					
		廃止						

1 事業目的

移住定住の促進のための取組みを行う。

2 事業概要

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
【継続】 お試し住宅事業	移住希望者の移住体験施設運営に係る光熱費等	619
【継続】 若者定住促進補助金	夫婦どちらか40歳以下で夫婦が市内に居住する場合の補助 ①住宅補助 …住宅・土地を購入した時、100万円。住宅のみの場合は50万円。小学生以下の子があれば1人につき10万円を加算。 ②家賃補助 …婚姻日から1年以内の夫婦が同居する時、月2万円の家賃を24ヶ月交付。	43,580
【拡充】 ひとり親移住定住促進補助金	①引越費…引越費用の全額補助:上限10万円 ②引越初期補助…住宅借上げに係る敷金礼金の一部:上限15万円 ③住宅補助 …住宅・土地を購入した時、100万円。住宅のみの場合は50万円。小学生以下の子があれば1人につき10万円を加算。 ④家賃補助 …月2万円の家賃を24ヶ月交付。 【拡充】旅館就業者限定から医療・保育・介護関係就業者を対象を拡充。	2,570
【継続】 出会い支援事業補助金	婚活イベント等の開催に係る補助 イベント1回につき上限5万円を補助	300
【継続】 空き家バンク事業補助金	空き家バンク登録予定物件の家財片付け・清掃補助 家財処分及びハウスクリーニング相当額の1/2、上限10万円を補助	500
【新規】 空き家リフォーム事業補助金	空き家のリフォーム補助 リフォーム代金の1/2、上限50万円を補助	3,000
【継続】 若者交流施設運営(維持管理) (移住情報センター)	・若者交流施設(移住情報センター)施設維持 ・移住定住相談会等	2,391
【継続】 若者交流施設運営(業務) (移住情報センター)	若者交流施設(移住情報センター)の運営業務委託	3,870
【継続】 移住・就業支援金	首都圏からの移住者向け支援金 移住者が世帯の場合100万、単身の場合60万円	4,200
合計		61,030
うち新規		3,000
拡充		2,570
継続		55,460

事業名	伊豆総合高校土肥分校下宿運営事業補助金	新規	○	予算額	R3	3,000 千円	担当課 (室)	総合戦略課
		継続			R2	0 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

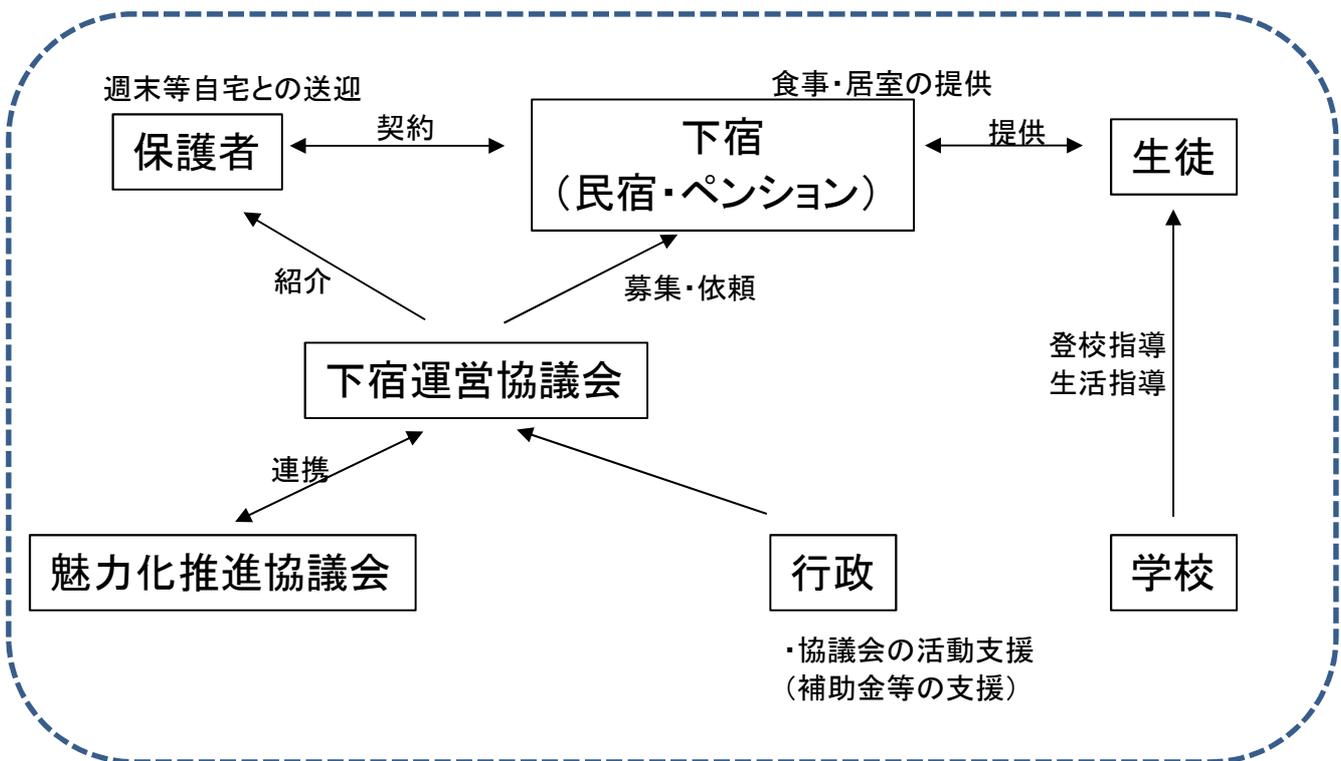
伊豆総合高校土肥分校魅力化事業の支援として、土肥分校へ入学を希望しても、遠距離で通学が難しいエリアの生徒に対し、下宿費の一部を手当することにより、保護者負担の軽減を図り、一定の入学者数を確保する。

2 事業概要

○市の事業費

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【新規】 伊豆総合高校土肥分校下宿運営事業補助金	補助は、学校後援会の内部組織の下宿運営協議会に対して行い、運営協議会が宿の斡旋や受入先への支払いを行う。 補助単価(1人1ヶ月)50,000円×12ヶ月×5名	3,000



事業名	産前産後ママ応援事業	新規	○	予算額	R3	265 千円	担当課 (室)	こども課
		継続						
		拡充			R2	- 千円		
		廃止						

1 事業目的

妊産婦の育児・家事をサポートすることで、母子が心身ともに健やかに安心して育児ができる環境を整える。

産前産後に家族のサポートが得られない妊産婦や、多胎児を育てる母が、孤立することなく、気軽に相談できる機会を多くする。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【新規】 ①家事支援訪問	【対象者】妊婦及び産後12ヶ月までの産婦 【内容】ヘルパーによる家事支援 1回60分、月6回まで。自己負担:1回500円 2,500円×20人=50,000円	50
【新規】 ②お弁当配達サービス	【対象者】妊婦及び産後4ヶ月までの産婦 【内容】お弁当(昼食)の配達サービス 1人につき合計30食まで。自己負担:1食500円 500円×120人=60,000円	60
【新規】 ③育児支援訪問	【対象者】産後12ヶ月までの母子 【内容】助産師または、保健師による育児支援 1回90分、月4回まで。自己負担:1回1,000円 4,000円×20人=80,000円	80
【新規】 ④赤ちゃん一時預かり	【対象者】生後6ヶ月までの乳児 【内容】助産院で乳児を預かりお世話をする 半日または1日合計3回まで。 自己負担:半日1回2,000円、1日1回3,000円 9,000円×5人+6,000円×5人=75,000円	75
合 計 (全て新規)		265

事業名	にじいろ子育て応援事業(産後ケア事業)	新規		予算額	R3	400 千円	担当課 (室)	こども課
		継続			R2	272 千円		
		拡充	○					
		廃止						

1 事業目的

妊産婦の育児・家事をサポートすることで、母子が心身ともに健やかに、安心して育児ができる環境を整え、産後に家族のサポートが得られない妊産婦や、多胎児を育てる母が、孤立することなく、気軽に相談できる機会を多くする。

なお、現在の産後ケア事業は、産後4ヶ月までが対象となっているが、令和3年4月1日より施行される母子保健法の一部改正で対象が産後1年まで拡充されるため、利用者の増加を見込んでいる。

2 事業概要

- 産後ケア事業は、訪問型の利用が多い。訪問を希望する内容は、母乳ケアが多くなっている。
- 未婚で出産する母や多胎児など、産後により手厚い支援を必要とする妊産婦が増えている。

区分	項目	(実績)		(見込)	
		H30	R1	R2	R3
①	宿泊型;助産院に宿泊(1泊2食)	2	2	2	5
②	日帰り型; 1)4時間以上	0	2	5	7
	2)4時間未満(120分程度)	3	4	15	17
③	訪問型;4時間未満(120分程度)	25	12	25	30

区分	従来分		R3から追加分	
①	12,000円×3泊×2人	72	3人×3泊×12,000円	108
②	1)8,000円×5人	40		
	2)4,000円×15人	60		
③	4,000円×25人	100	5人×4,000円	20
	合計	272	合計	128

事業名	修善寺東こども園における受入年齢の引き下げ	新規		予算額	R3	57,613 千円	担当課 (室)	こども課
		継続			R2	52,905 千円		
		拡充	○					
		廃止						

1 事業目的

園児の受入年齢を引き下げることで子育て世帯の就労を支援する。

2 事業概要

○ 園児の受入年齢を現状の1歳から8ヶ月児まで引き下げ、受入対象の拡充を図る。

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【拡充】 給食調理等業務	・修善寺東こども園における給食調理業務委託 1歳児以上向けの給食調理業務 54,740千円 <u>0歳児(8ヶ月以上)向けの給食メニューの追加 2,873千円</u>	57,613
合 計		57,613
内、拡充分		2,873
継続分		54,740

事業名	育てて育つ事業	新規	○	予算額	R3	3,837 千円	担当課 (室)	こども課
		継続	○		R2	5,113 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

子育てのしやすい環境を整えることで、子育て世代の支援を行い人口減少の抑制につなげていく。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【継続】 家庭円満教室の開催	【対象者】市内在住の子育て世代夫婦 【内容】 円満な家庭を気付くための情報講座を開催。	230
【継続】 子育て支援センターの開設	【内容】 湯ヶ島子育て支援センターの土曜日開設	493
【継続】 子育て情報誌作成	【内容】 情報の共有を目的に、子育て情報誌「familyizu」を年4回発行する。	1,914
【継続】 子育て支援奨励金	【対象者】市内保育施設への新規就業者 【内容】 1人当たり200千円(29歳未満は5万円を加算)の奨励金を支給	1,000
【新規】 子育て団体応援助成事業	【対象者】子育てイベントを実施する団体 【内容】 子育てに関係するイベントや教室等、多くの子育て世代の来場者が見込まれるイベント等を行う団体に対して助成を行うことで、子育て団体の育成を図る。	200
合 計		3,837
内、新規分		200
継続分		3,637

事業名	子育て援助活動支援事業(ファミリーサポートセンター)	新規	○	予算額	R3	335 千円	担当課 (室)	こども課
		継続	○		R2	76 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

子育て世帯の負担軽減のため、乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の主婦等を登録会員として、児童の預かりの援助を受けたい方と行いたい方の相互援助活動に関する連絡調整等を行う。

2 事業概要

○ 相互援助の活動例

- ・保育施設までの送迎
- ・冠婚葬祭や放課後における一時的な児童の預かり

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【継続】 研修会の実施	・講師による講習会の実施	30
【継続】 活動に要する経費	・会員の活動における賠償責任保険料	50
【新規】 会員管理システムの導入	・会員管理システム「ファミサポくん」の導入 会員情報や活動状況などの管理システム	255
合 計		335
内、新規分		255
継続分		80

事業名	狩野川記念公園遊具更新事業	新規	○	予算額	R3	13,000 千円	担当課 (室)	社会教育課
		継続						
		拡充			R2	－ 千円		
		廃止						

1 事業目的

狩野川記念公園の遊具の老朽化に伴い遊具を更新する。また、当公園は、子育て世代から人気の公園であり、子育て世代の意見を反映した遊具の整備を行うことにより、子育て世代が集う拠点となることを目的とする。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
狩野川公園遊具更新工事	①遊具設置 ・遊具搬入 ・遊具設置 ・基礎工事 ※遊具の種類については、子育て世代の意見を反映したものを設置する。 ②既存遊具撤去	13,000
	合計	13,000

事業名	GIGAスクール推進事業	新規		予算額	R3	22,079 千円	担当課(室)	学校教育課
		継続	○		R2	401,955 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

市内、小、中、義務教育学校に整備される校内通信ネットワーク及び1人1台端末の保守運用業務並びにICT支援員サポート業務を実施することで、学校における安心安全なICT環境を構築し、端末の不具合対応や授業支援を円滑かつ丁寧に行い、多様な子どもたちを公正に個別最適化し、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
校内ネットワーク環境保守運用	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 校内ネットワーク回線の監視管理を外部委託し、保守運用を行う。 ●業務内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークや機器の不具合・異常、外部からの不正アクセス等を監視、通知、現地派遣対応を実現する保守運用体制 ・無線ネットワークの通信状況の可視化 ・外部や設置者単位で監視管理が可能となるクラウドベース ・災害時に公衆Wi-Fiに切り替わる機能の搭載 	6,490
1人1台端末保守運用	<ul style="list-style-type: none"> ●受付期間:業者営業日、営業時間内の9:00~17:30 ●受付方法:電話、FAX、メール(学校から直接連絡可) ●業務内容:リモート対応を想定 <ul style="list-style-type: none"> ①ヘルプデスクサービス <ul style="list-style-type: none"> ・端末に関する不具合や故障が発生した際の相談窓口設置 ②MDM(モバイル管理ソフト)保守 <ul style="list-style-type: none"> ・年度更新作業を含むアカウント管理 ・MDM(モバイル管理ソフト)管理 ・アップデート配信管理 ③端末保守 <ul style="list-style-type: none"> ・修理品の受付、修理依頼 ・修理品の再設定 	7,589
ICT支援員サポート	<ul style="list-style-type: none"> ●支援員数:1名~3名程度 ●訪問回数:1校あたり2週間に1回(2回/月、14回/年) ●訪問時間:6時間/回(84時間/年) ●訪問期間:R3年8月~R4年3月の8ヶ月間 ●業務内容 <ul style="list-style-type: none"> 【授業支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業の相談対応・提案、事前打合せ ・授業で使用する教材作成、機器の準備・片付け ・授業中の教員、児童、生徒への操作支援・操作説明 【環境整備】 <ul style="list-style-type: none"> ・清掃や消耗品の補充、動作確認 ・環境面での活用推進提案(マニュアル作成等) 【研修支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・教員向けのICT活用研修企画支援・実施 	8,000
合計		22,079

事業名	通学・就学支援関連事業	新規		予算額	R3	90,955 千円	担当課 (室)	総合戦略課 学校教育課
		継続	○					
		拡充			R2	93,913 千円		
		廃止						

1 事業目的

市内の児童生徒が就学するために必要な費用の一部を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減する。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
通学補助事業 (学校教育課)	市内に住所を有する児童生徒又は市立小学校、中学校及び義務教育学校に通学する児童生徒で住居から学校までの全行程が片道2km以上の者の保護者に対し、通学費の一部を補助する。 【小学校分】 21,260千円 【中学校分】 34,100千円 【義務教育学校分】 4,715千円	60,075
高校生通学補助事業 (総合戦略課)	市内に住所を有する生徒で高等学校等に通学する際にバスを利用する者に対しバス定期券の購入代金の一部を補助する。	12,107
要保護及び準要保護生徒援助事業 (学校教育課)	経済的理由により児童生徒を就学させるのが困難な保護者に費用の一部を援助する。 【小学校分】 7,209千円 【中学校分】 6,414千円 【義務教育学校分】 1,652千円	15,275
特別支援教育就学奨励事業 (学校教育課)	特別支援学校に通学する児童生徒に対し教育費の一部を支給する。 【小学校分】 1,787千円 【中学校分】 1,554千円 【義務教育学校分】 157千円	3,498
合 計		90,955

事業名	新中学校整備事業	新規		予算額	R3	980,055 千円	担当課 (室)	学校教育課
		継続	○					
		拡充			R2	70,000 千円		
		廃止						

1 事業目的

将来の伊豆市を担う子供たちにより良い教育環境を整備するため、修善寺中学校、中伊豆中学校及び天城中学校の3校を統合した伊豆市新中学校(仮称)を令和7年4月の開校に向けて整備する。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
謝礼・費用弁償	新中学校アドバイザー謝礼及び費用弁償 55 (謝礼6,000+静岡5,000円)×5回	55
実施設計業務	建築工事实施設計委託 200,000 ・実施業務内容(総合、構造、設備等) 土木造成実施設計委託 60,000 ・測量、地質調査・解析、実施設計、都市計画法関係協議 用地買収・許認可等委託 20,000 ・実施踏査、土地・建物登記簿及び戸籍簿等調査、土地・物件調書及び台帳作成、用地交渉	280,000
補償費	物件移転補償 208,000 ・一般(建物、工作物、動産、移転雑費、立木) ・仮物件(移転費用、工作物、動産、移転雑費)	208,000
土地購入費	土地取得費(宅地等、農地) 492,000	492,000
合 計		980,055

事業名	児童複合施設整備事業	新規		予算額	R3	6,160 千円	担当課 (室)	学校教育課
		継続	○		R2	1,100 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

天城小学校付近の空き家を活用し、放課後児童クラブ、バス待ち児童待合場所、適応指導教室を備えた複合施設を整備し、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対する放課後及び学校休業中の遊びと生活の場を提供することで、子育て支援の充実を図るとともに児童の安全確保と健全育成を図る。

2 事業概要

区分	内容	R3当初予算
天城複合施設設計委託料	天城児童複合施設整備に向けての設計委託料 5,600千円×1.1=6,160千円	6,160

3 天城放課後児童クラブ利用人数

天城放課後児童クラブ在籍児童数							
年度	H27. 4. 1	H28. 4. 1	H29. 4. 1	H30. 4. 1	H31. 4. 1 (R1)	R2. 4. 1	R3. 4. 1見込
定員	30	30	30	30	30	30	30
申込数	35	31	38	36	40	50	35
在籍数	35	31	35	28	40	39	
待機児童数	0	0	3	8	0	11	
[在籍数詳細]							
	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3
1年	8	12	10	17	10	22	11
2年	10	9	11	5	19	7	17
3年	9	7	11	5	7	10	5
4年	5	3	3	1	3	0	2
5年	3	0	0	0	0	0	0
6年	0	0	0	0	1	0	0
計	35	31	35	28	40	39	35

事業名	重層的支援体制移行準備事業	新規	○	予算額	R3	918 千円	担当課 (室)	社会福祉課
		継続						
		拡充						
		廃止						
					R2	- 千円		

1 事業目的

市が実施主体となり、官民協働による「断らない包括的な支援体制」を構築することで、既存の機関を活かしながら各制度で定められた相談支援機関の機能を超えた支援を可能とする。

2 事業概要

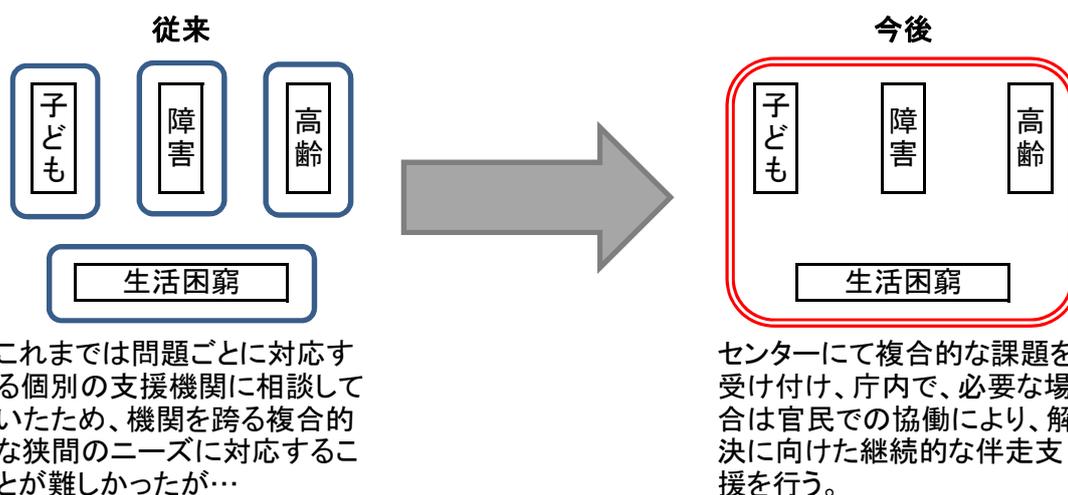
(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【新規】 福祉相談センター開設経費	・電話架設料 70千円 ・備品購入費 848千円 ワゴン、引き出し型3段オールロック錠キャビネット、シングルベース(キャビネット用)、利用者用椅子、ローカウンター、オフィスデスク・チェア	918
合計 (すべて新規)		918

・生きいきプラザ内(現修善寺地域包括支援センター執務室)に、福祉相談センターを開設する。

～福祉相談センターが請け負う事業～

自立相談支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、子どもの学習支援事業、住居確保給付事業、生活困窮者の自立の促進に関する包括的な事業



※令和3年度は移行準備期間であり、まずはひきこもりによる生活困窮者の相談窓口として、アウトリーチ支援員を配置し、困窮事業の充実を図る。

・センターは社会福祉士や精神保健福祉士の専門職を始めとした5人体制で運営予定。

・成年後見制度利用促進に係る中核機関を福祉総合相談窓口に設け、社会福祉士を持つ社会福祉協議会の職員により実施する。

事業名	就労支援事業(被保護者・重度障害者)	新規	○	予算額	R3	8,089 千円	担当課(室)	社会福祉課
		継続	○		R2	1,803 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

【被保護者】

被保護者の自立に向け就労支援を行うことで、経済的な自立だけではなく、社会参加等の機会により日常生活における自立や社会生活における自立にもつなげていく。

【重度障害者】

通勤支援や職場での支援を行うことにより、就労に係る負担を軽減する。

2 事業概要

○被保護者

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【継続】 被保護者就労支援事業	・被保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行う事業 ①対象者の課題を把握、②被保護者の状態に応じた目標や支援内容、③求職活動の支援、④支援の評価、⑤定着支援	2,195
【新規】 就労準備支援事業	・被保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行う事業、一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成を計画的かつ一貫して支援する事業 ①対象者の課題を把握、②就労体験の中で、日常生活自立、社会生活自立及び就労自立に向けた取組を一括して実施、③日常生活自立に関する支援、④社会生活自立に関する支援、⑤就職活動支援、⑥就職後の職場定着支援	1,766
合 計		3,961
内、新規分		1,766
継続分		2,195

○重度障害者

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【新規】 重度障害者等特別支援事業	・雇用施策においても支給対象となる支援 文書の朗読や作成、機器の操作や入力作業、業務上必要な外出の付き添い等 ・本事業においてのみ支給対象となる支援 喀痰吸引、呼吸器等の調整、体位変換、トイレ利用の介助、安全確保のための見守り	4,128
合 計 (全て新規)		4,128

事業名	被保護者健康管理支援事業	新規	○	予算額	R3	2,237 千円	担当課 (室)	社会福祉課	
		継続	○		R2	-			千円
		拡充							
		廃止							

1 事業目的

生活保護医療扶助費は、介護扶助費合わせると扶助費の50%を占めている。
 被保護者は、多くの健康上の問題を抱えているにもかかわらず、健康に向けた活動が低調となっており、結果的に重篤化するまで放置されることが多い。
 健康診断の結果により保健指導や必要に応じて栄養指導を実施し、適切な受診に向けて指導ができ、疾病の改善や重篤化の予防につながり、医療扶助費の削減につながる。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【新規】 生活保護システム ヘルスサポートシステム	・ケースワークの際に、被保護者の情報整理を行うことで、または令和2年度に実施したレセプトの分析により、指導対象者を絞り込む ・個別に目標や評価指標を設定した上で支援内容の検討を行い、支援の実施 (補助事業) ・ヘルスサポート利用料 476千円 (単独事業) ・訪問支援システム環境設定委託料 1,320千円 ・ヘルスサポート利用料訪問支援システム利用料 (タブレット3台利用料込) 309千円 ・訪問支援システム保守料 132千円	2,237
合計 (全て新規)		2,237

※そのほか、以下の取組みを継続して行っていく。

区分	内容
【継続】 健康診断への受診勧奨	・ケースワークの際、健康診断の受診勧奨を実施。 ・健康診断の結果により保健指導を実施し、必要に応じて栄養指導を実施。
【継続】 ジェネリック医薬品の利用促進	・ジェネリック医薬品普及率が低いため、ジェネリック医薬品の利用を促進していく。(普及率77.5%)

事業名	移動支援事業(地域生活支援事業)	新規	○	予算額	R3	1,370 千円	担当課 (室)	社会福祉課
		継続	○		R2	780 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

既存の移動支援事業を改正して、個別支援型と通学支援型にすることで、今まで利用できなかった市外の特別支援学校に通学する児童及び生徒に対する移動支援が可能となり保護者の経済的、身体的負担が軽減できる。

2 事業概要

○被保護者

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【継続】 外出移動支援	【対象】障害者(児) 【内容】外出時におけるヘルパーによる個別的支援	660
【新規】 特別支援学校 移動支援	【対象】市外の特別支援学校に在籍する児童及び生徒で、通学送迎バスが利用できず、且つ保護者が就労や病気等で送迎できない者 【内容】電車通学時におけるヘルパーによる移動介助	710
合 計		1,370
内、新規分		710
継続分		660

事業名	病院群輪番制病院設備整備事業費補助金	新規		予算額	R3	1,833 千円	担当課 (室)	健康支援課
		継続	○		R2	11,912 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

市内の病院群輪番制病院(伊豆赤十字病院)の救急医療に対して救急医療機器を整備する補助金を交付し、救急医療を確保することを目的とする。

2 事業概要

○事業費

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【継続】 病院群輪番制病院設備整備費補助金	・医療機器(内視鏡装置一式)の購入・設置に対する補助 ・県費補助額に市が1/2を付け増して補助する(県費1,222千円見込み) 補助額 1,833千円 ①県費分 事業費2,750千円×2/3×2/3=1,222千円 ②市費分 事業費2,750千円×2/3×2/3×1/2=611千円	1,833
合計 (すべて継続)		1,833

<これまでの実績>

(千円)

年度	補助内容	補助額
H29	低周波治療器・干渉電流型低周波治療組合わせ理学療養器機	495
H30	FPD搭載デジタル式X線透視診断装置	12,942
R1	解析機能付き生体情報セントラルモニタ	5,205
R2	内視鏡装置一式	11,912 (予算額)

事業名	二次救急病院設備整備費補助金	新規		予算額	R3	7,500 千円	担当課 (室)	健康支援課
		継続	○		R2	16,397 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

伊豆市内で安心して治療が受けられるよう、医療機器の整備に補助をすることで、市内唯一の二次救急医療機関における診断、治療が完結でき地域医療の充実をはかることが可能となる。
 加えて、医師確保にも繋げることを目的とする。

2 事業概要

伊豆日赤病院は伊豆市唯一の救急専用病床を有する二次救急医療機関として、また、平成30年度から一次救急医療機関輪番制病院も担う医療機関として、CTによる撮影を年間約2,500件超(夜間・休日撮影件数約450件前後/年)実施し、急性期医療に役立っている。また、市内クリニックからCT撮影依頼を年間50件前後を担っている。
 しかしながら、現在使用しているマルチスライスCTスキャナーは平成21年8月に更新したものの、法定耐用年数6年を大きく超えており、令和3年12月を以って交換部品供給が終了する予定となっている。
 今後も安定した医療を提供するためにはCTの更新が不可欠であり、地域医療確保の観点から日赤病院のCT医療機器整備に対して補助を行う。

区分	内容	R3当初予算
【継続】 二次救急病院設備整備費補助金	・医療機器(マルチスライスCTスキャナー)の購入・設置に対する補助を2年間で行う。	7,500
合 計 (すべて継続)		7,500

項 目		金 額
医療器具(CT)		29,700 千円
整備財源	補助金	15,000 千円 ←7,500千円+7,500千円(R3~R4)
	自己資金	14,700 千円

事業名	公的病院移転新築事業費補助金	新規		予算額	R3	600,000 千円	担当課 (室)	健康支援課
		継続	○					
		拡充			R2	300,000 千円		
		廃止						

1 事業目的

地域医療の確保及び充実を図り、市民が将来にわたり安心した医療の提供を受けることができるよう、JA静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院の移転新築に対し補助金を交付する。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【継続】 公的病院移転新築事業費補助金	・インフラ整備、建築工事着手時の材料費支払いに対する補助(当該年度に支払の完了した補助対象経費の総額と6億円のいずれか少ない額)	600,000
合計 (すべて継続)		600,000

3 参考 (補助金の額)

○伊豆市公的病院移転新築事業費補助金交付要綱

第5条 補助金の交付は補助対象経費に対して行うものとし、その総額は補助対象経費の総額から補助対象経費に係る補助金等(本補助金を除く。)を減じた額の18%に相当する額と15億円のいずれか少ない額とし、各年度の交付額は次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 令和2年度の補助金の額は、当該年度に支払の完了した補助対象経費の総額と3億円のいずれか少ない額とする。
- (2) 令和3年度の補助金の額は、当該年度に支払の完了した補助対象経費の総額と6億円のいずれか少ない額とする。
- (3) 令和4年度の補助金の額は、補助対象経費の総額から補助対象経費に係る補助金等(本補助金を除く。)を減じた額の18%に相当する額と15億円のいずれか低い方の金額から前2号の規定により交付された額を差し引いた額を交付する。

事業名	バス・タクシー等利用助成事業 (高齢者・重度心身障害者)	新規		予算額	R3	29,365 千円	担当課 (室)	総合戦略課 社会福祉課 長寿介護課
		継続	○		R2	30,185 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

- 在宅高齢者
長年住み慣れた地域社会の中で、自立して生活できるよう支援するとともに、生活圏の拡大、社会参加の促進及び福祉の増進を図る。
- 重度心身障害者
障害者の施設生活および在宅生活での経済的支援を行うことで障害者の福祉の向上を図る

2 事業概要

(単位:千円)

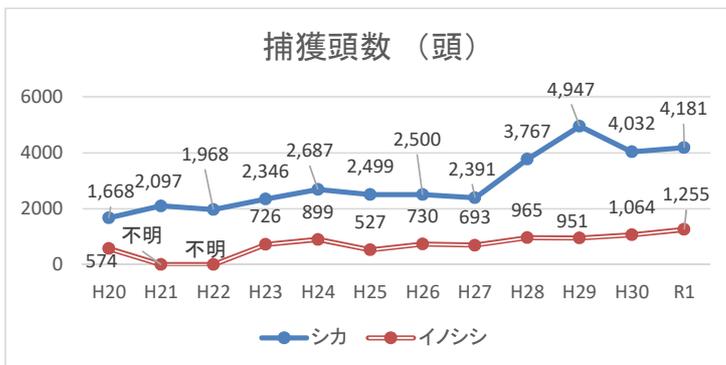
区分	内容	R3当初予算
【継続】 高齢者割引乗車証購入助成事業補助金 (総合戦略課)	○対象 申請日において市内に住所を有する70歳以上の高齢者 ○内容 東海バスの発行する「いきいきパス」購入費の一部を補助 ・3ヶ月乗車証 5,000円 ・6ヶ月乗車証 9,000円 ・12ヶ月乗車証 13,500円	4,150
【継続】 重度心身障害者タクシー等利用助成 (社会福祉課)	○対象 身障1・2級、療育A・B、精神1・2級の障害者手帳所持者 ○内容 タクシー、バス、鉄道の助成利用券(100円×120枚=12,000円分)を交付	4,678
【継続】 在宅高齢者タクシー等利用料金助成事業 (長寿介護課)	○対象 市内に住所を有する満80歳以上の在宅高齢者 ○内容 タクシー、バス、鉄道の助成利用券(100円×120枚=12,000円分)を交付	20,537
合計 (全て継続)		29,365

事業名	有害鳥獣被害対策事業	新規		予算額	R3	35,848 千円	担当課 (室)	農林水産課
		継続	○		R2	31,063 千円		
		拡充	○					
		廃止						

1 事業目的

有害鳥獣による農林水産物、生活環境及び生態系への被害を防止することを目的とする。このため、伊豆市有害鳥獣捕獲隊・伊豆市鳥獣被害対策実施隊によるシカ・イノシシ捕獲の実施および農林業者を対象に防護柵設置に係る資材費の助成を実施する。また、国庫補助事業の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用した大規模侵入防止柵の設置、実施隊の活動経費の定額補助による捕獲資機材の購入や各種研修会の開催等を実施する。

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
【継続】 実施隊員報酬・費用弁償	【実施隊活動費】銃猟出役 9,400円/回 わな猟出役 1,700円/日	482
	【費用弁償】銃猟出役 2,600円/日 わな猟出役 1,300円/日	377
【継続】 有害鳥獣等被害対策事業補助金	農林産物の防護を目的として設置する防護柵資材費の1/2を補助(100件) 上限10万円 ※認定農業者は15万円	4,500
【拡充】 鳥獣被害防止対策協議会補助金 <国庫補助10/10>	鳥獣被害防止総合対策交付金(国庫補助金)事業 ○推進事業…実施隊の活動経費定額補助 3,000,000円 ○整備事業…大規模侵入防止柵設置 2地区 5,000m 7,900,000円 ○緊急捕獲活動支援事業…有害捕獲に係る捕獲活動経費(「DEER BASE izu しかまる」搬入個体対象) 9,000円*200頭=1,800,000円	12,700
【継続】 わな猟免許取得補助金	わな猟免許取得費用の1/2を補助(10人) 予備講習会 9,000円+試験 5,200円=14,200円	70
【継続】 有害鳥獣捕獲奨励金	シカ・イノシシ 7,000円(シカ700頭、イノシシ700頭) 小動物 3,000円(10頭) 鳥類 1,000円(10羽)	9,840
その他経費	人件費、出張旅費、機械等燃料費、修繕料等	7,879
		【合計】 35,848



継続	15,269
拡充	12,700
その他	7,879
【合計】	35,848

※捕獲頭数は伊豆市捕獲隊・県・一般の合計数

捕獲隊員の技術向上やわな設置箇所数の増加によりシカ・イノシシの捕獲頭数が着実に増え、有害鳥獣被害の防止として一定の効果を得ている。

R3はわな設置箇所について2地区より要望があり、国庫補助(10/10)を受けて実施するため事業費が増加している。平成30年度に策定した伊豆市鳥獣被害防止計画にはシカ被害(27,860千円)、イノシシ被害(13,130千円)、カワウ(42,000千円)とされており、被害額の減少に向けて継続して捕獲活動を実施する。参考としてR3捕獲計画数はシカ2,122頭、イノシシ700頭としているが、増殖する有害鳥獣の実態と受け皿であるイズシカ問屋との連携により更なる捕獲を実施する。

事業名	食肉加工センター管理運営事業	新規		予算額	R3	26,828 千円	担当課(室)	農林水産課
		継続	○		R2	26,228 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

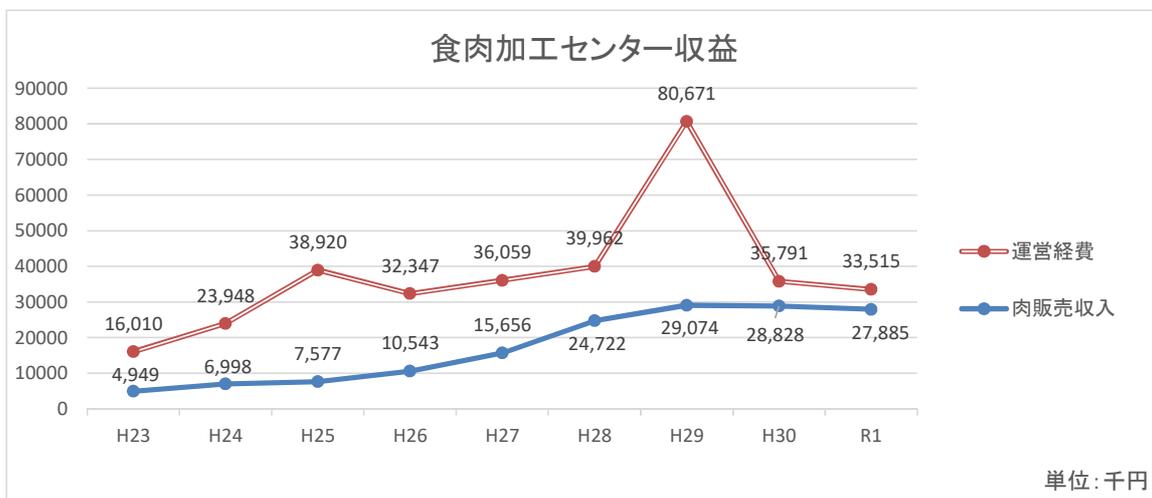
市内の有害鳥獣捕獲、県管理捕獲及び狩猟で捕獲されたシカ、イノシシの搬入を受け入れ、解体後に熟成をさせた後、精肉、製品とし、獣害対策及びジビエ振興に繋げることを狙いとする。

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
食肉加工センター管理運営事業	<p>【搬入・解体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊豆市内で捕獲されたシカ及びイノシシを、捕獲当日の朝9時までに搬入してもらい、個体検査の上解体し、7～10日間熟成する。 <p>【精肉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟成が終わった個体は骨抜き後、表面をすべてトリミングし、部位ごとに精肉する。 ・部位ごとに包装し、真空パック後に瞬間凍結機で冷凍する。冷凍後に金属探知機で残弾がないかチェックし、各販売店へ出荷。 <p>【処分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬入時に受入不可となった個体、また加工中に発生した残渣は減容化処理装置で分解・処分する。 <p>【営業・PR活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イズシカの販促及びPRとして、10周年を記念したフェスの開催、イベントの出展による営業活動を予定。 	26,828

イズシカ問屋搬入実績

単位:頭

	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
シカ	422	602	708	600	820	957	994	834	836
イノシシ	37	147	68	105	90	194	95	202	144
合計	459	749	776	705	910	1151	1089	1036	980



※H29に減容器導入

事業名	地域公共交通網形成計画策定事業	新規		予算額	R3	8,932 千円	担当課 (室)	総合戦略課
		継続	○		R2	6,700 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

コンパクトタウン&ネットワーク構想の推進による持続可能な公共交通網の実現のため平成28年度に策定した伊豆市地域公共交通網形成計画の見直しを行う

2 事業概要

区分	内容	R3当初予算
【継続】 地域公共交通網形成 計画策定事業	計画の見直しに向けた取り組み ・見直しに向けた各種現状の整理 ・市民アンケート調査の実施 ・市民意見交換会の実施(4地区各1回) ・計画の方針、目標の再検討 ・中長期のとりまとめ ・計画のとりまとめ(計画書・概要版の作成) ・地域公共交通会議運営(3回)	8,932
合計 (すべて継続)		8,932

伊豆市地域公共交通網形成計画(2017-2025)が令和2年度に第1期(短期)が終わったが、コロナ禍において、計画見直しを1年先延ばしたため、令和3年度に必要な応じた事業の中間見直しを行うとともに、課題把握・解決策の検討をする。

また、平成29年度から令和元年度に掛けて天城湯ヶ島地区と中伊豆地区において予約型乗合タクシーの試験運行を行い、試験運行から本格運行に移行するための基準として、運行稼働率及び1便あたりの乗車人数の目標値を設定したが、目標値に届かなかった事や、地域の方々に前日予約というやり方が馴染めなかった事などから、今回実施した運行内容での本格運行は実施できなかった。

令和3年度は、この見直しに絡めて、地域の方々が望んでいる地域内交通などのニーズ調査もを行い、結果を計画に反映させる。

計画を策定する目的は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、法定会議である地域公共交通会議にて承認を得てH28に作成した。計画作成時から文教ガーデンシティなど市の計画が変わった部分があるため、現行の計画を見直す必要がある。

事業名	廃棄物流入対策事業(平和寺関係)	新規		予算額	R3	4,363 千円	担当課 (室)	財務課 環境衛生課
		継続	○		R2	44,011 千円		
		拡充	○					
		廃止						

1 事業目的

宗教法人平和寺本山敷地内へ大量の廃棄物混じりの土砂等が搬入され、大雨の際には土砂及び廃棄物が隣接地や柿木川に流れ出ており、市として大きな社会問題となっている。

木柵の設置等をR2年度中に実施しているが、住民への影響がないか引き続き検査を行っていくとともに、原因者に対する訴訟経費を計上する。

2 事業概要

○流入対策事業【環境衛生課所管】

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【継続】 水質検査	柿木川水質調査 (年6回6箇所、県と交互に隔月実施) 廃棄物の流入による水質汚染がないか定期的な水質検査を行う。 (検査項目) PH、BOD、SS、DO、大腸菌群、カドミウム、シアン、鉛、六価クロム、ひ素ほか	3,012
【継続】 土壌調査	大平柿木地区土壌検査業務 1式 重金属類溶出 10項目 重金属類含有 9項目	400
【新規】 食品汚染物質 検査委託料	米・魚類に係る検査	251
【継続】 不法投棄の監視	監視カメラ用消耗品 市道大野入り線監視カメラ用乾電池ほか	100
合 計		3,763
内、新規分		251
継続分		3,512

○原因者訴訟関係【財務課所管】

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【継続】 弁護士費用	・報酬 420千円 ・費用弁償 180千円	600

事業名	新リサイクルセンター整備事業	新規		予算額	R3	30,140 千円	担当課 (室)	環境衛生課
		継続	○		R2	11,904 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

新ごみ処理施設整備に伴い、廃止される伊豆市清掃センター焼却施設を解体するとともに新リサイクルセンターの整備を行う。

2 事業概要

(単位:千円)

事業区分	内容	R3 (当初予算)
【継続】 リサイクルセンター整備事業	・地質調査業務委託 5,560千円 機械ボーリング 3箇所 8m ・標準貫入試験 24回 ・土質試験 ・基本設計業務委託 9,170千円 プラント設備基本設計 ・土木・建築設備基本設計 ・生活環境影響調査業務委託 7,630千円 騒音、振動、悪臭測定 ・調査書作成(予測、影響分析)	22,360
【継続】 進入路整備事業	・進入路用地測量及び詳細設計業務 7,780千円 用地幅杭設置測量、復元測量等 道路詳細設計	7,780
合計 (全て継続)		30,140

3 事業スケジュール

施設整備スケジュール(案)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
既存焼却施設	稼働中			焼却施設稼働停止	施設解体	
用地関係	用地決定					
生活環境影響調査			生活環境影響調査 ・現地調査(悪臭・騒音・振動) ・予測評価 ・報告書作成			
各種調査		測量調査 ・地形測量	地質調査 ・地質調査			
計画・設計	施設基本 ・処理対象廃棄物の決定 ・現地踏査 ・啓発施設の検討 ・概算事業費算定 ・基本構想取りまとめ	施設基本計画 ・施設規模の算定 ・事業計画の策定 ・配置計画の検討 ・処理フローの検討 ・投資対効果の検討	リサイクルセンター基本設計・焼却施設解体設計 ・見積仕様書作成 ・見積聴取 ・造成設計 ・解体設計 ・PFI導入可能性調査 ・事業方式最終決定	ダイオキシン類調査 ・発注図書作成 ・発注手続き		
工事					建設工事	施工監理

事業名	防災防犯カメラ設置関連事業	新規	○	予算額	R3	7,474 千円	担当課 (室)	総務課 防災安全課
		継続						
		拡充	○		R2	2,303 千円		
		廃止						

1 事業目的

行政用防災カメラの機能強化及び通学路への防犯カメラ設置に対する補助金を交付することにより、地域の安全対策を強化する。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【拡充】 行政用防災カメラ更新 (総務課)	既存の防災監視カメラの老朽化に伴い、夜間監視可能な防災カメラへ更新し、夜間の風水害での河川水位状況が鮮明に確認できるようにする。 【設置予定場所】 本庁・旧狩野幼稚園・町屋・土肥小中一貫校	5,974
【新規】 通学路防犯カメラ設置補助事業 (防災安全課)	点検によって防犯カメラの設置が必要と判断された通学路内の自治会等が防犯カメラを設置するのに対し、その費用の一部を補助する。 【補助対象者】 自治会、町内会等 【補助要件】 緊急合同点検等の結果、防犯カメラの設置が必要と判断された箇所 【補助対象経費】 防犯カメラ(録画装置及び付属品を含む)の購入及び設置に係る経費、カメラの設置を示すプレートの購入及び設置経費 【補助額】 上限30万円	1,500
合 計		7,474
内、新規分		1,500
拡充分		5,974

事業名	デジタル同報系防災行政無線整備事業	新規		予算額	R3	905,025 千円	担当課 (室)	防災安全課
		継続	○		R2	596,975 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

同報系防災行政無線の老朽化等によりアナログ方式からデジタル方式へ更新することで、屋外スピーカーの音質向上やホームページ、登録制メール、各種SNS、防災アプリ等の情報通信手段との連携による迅速かつ多重な情報伝達が可能となり、市民の安全安心な生活が図られる。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
同報系防災行政無線整備工事	同報系防災行政無線の老朽化によりアナログ方式からデジタル方式へ更新する。 親局:1局、緊急親局装置:1台、遠隔制御装置:3台、中継局:1局、簡易中継局:2局、再送信子局:6局、屋外拡声子局:164局、戸別受信機:5,000台	891,000
同報系防災行政無線整備工事監理業務委託	同報系防災行政無線整備工事に関する監理を委託する。 納入機器仕様確認、工程確認、設計業務、工程管理業務、現場立会、検査業務	14,025
合計		905,025

事業名	ハザードマップ作製事業	新規		予算額	R3	13,141 千円	担当課 (室)	防災安全課
		継続	○					
		拡充	○		R2	- 千円		
		廃止						

1 事業目的

ハザードマップを作製し住民に周知することにより、自主的な避難や、普段からの備えの強化に活用する。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
土砂災害ハザードマップ作製	土砂災害警戒区域の追加指定に対応するため、土砂災害ハザードマップを更新する。	9,394
狩野川等浸水ハザードマップ作製	大見川及び山川が浸水想定区域に指定されたことに伴い、浸水ハザードマップを作製する。	3,747
合計		13,141

事業名	日向公園(防災公園)整備事業	新規	○	予算額	R3	50,000 千円	担当課 (室)	都市計画課
		継続			R2	25,100 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

発災が懸念されている南海トラフ巨大地震などの大地震や津波、豪雨等に対して、自衛隊等の活動拠点や不足している応急仮設住宅の建設用地確保のため、防災機能を備えた公園整備を行う。また、災害時だけでなく平常時においても市民に親しまれる公園の整備を進める。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
日向公園測量 設計業務	公園面積 A=4ha 防災公園実施設計 用地測量調査	50,000
合計		50,000

3 整備事業スケジュール

(仮称) 日向公園の整備事業スケジュール

	令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度				備考
	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	1/4	2/4	3/4	4/4	
調査・設計	公園基本計画				公園基本設計				公園実施設計				用地測量												
用地買収					用地交渉				用地買収																
工事									造成工事				施設整備(道路・広場等)				管理棟建築				遊具等整備				遊具の追加整備等
その他	【新中学校】基本設計				用地買収				実施設計				パークPRの検討・PR				新中学校整備				開校				

事業名	TOUKAI-0推進事業	新規		予算額	R3	21,616 千円	担当課 (室)	都市計画課
		継続	○		R2	12,184 千円		
		拡充	○					
		廃止						

1 事業目的

旧耐震基準(昭和56年5月以前)の建物の耐震化を実施することにより、地震発生時の住宅、建築物等の倒壊等による災害を防止し、災害に強いまちづくりを推進する。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【継続】 わが家の専門家診断事業	静岡県建築士会による木造住宅の耐震診断を実施する。	511
【一部拡充】 ブロック塀等耐震改修促進事業	<p>【継続】安全な通学路:3,490千円 通学路沿いのブロック塀を撤去しアルミフェンス等に改善するのに対し補助金を交付する。 補助上限額:撤去266千円/件、改善166千円/件</p> <p>【拡充】安全で美しいいなみ:1,665千円 ブロック塀から周辺の景観に配慮した生垣等に改善するのに対し補助金を交付する。 補助上限額:333千円/件</p>	5,155
【継続】 耐震補強事業	耐震診断に基づき木造住宅の耐震補強工事を行うのに対し補助金を交付する。 補助上限額:一般木造住宅1,000千円、高齢者等木造住宅1,350千円	11,750
【継続】 緊急輸送路沿道建築物耐震化補助金	静岡県が災害時に緊急輸送路として使用する道路を位置づけ、当該道路の沿道に建築されている建築物に対し耐震診断の実施と結果報告を義務付けた。 耐震診断の結果、補強計画を策定し補強工事を実施した者に対し補助金を交付する。 補助上限額:補強計画策定1,800千円 耐震工事2,400千円	4,200
合 計		21,616
内、継続分		16,461
拡充分		5,155

○H30住宅の耐震化率(H30・住宅・土地統計調査より)

	伊豆市	伊豆の国市	函南町	三島市
H30年住宅耐震化率(%)	81.7	88.4	87.1	91.0

事業名	市道整備事業	新規		予算額	R3	510,851 千円	担当課 (室)	建設課
		継続	○					
		拡充			R2	862,628 千円		
		廃止						

1 事業目的
市道の整備を行うことにより、通行の安全と市民の利便性の向上を図る。

2 事業概要 (単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
市道さくら大通線改良工事	下白岩地区:道路改良工 L=100m	120,500
市道越路嵐山線改良工事	修善寺地区:舗装工事	15,000
市道矢熊筏場線改良工事	・矢熊地区:道路改良工(法面工、擁壁工) L=150m ・筏場地区:道路改良工(擁壁工) L=150m	44,000
市道荻原原線改良工事	・大平地区:道路改良工(擁壁工、水路工) L=80.0m	30,500
市道大平柿木本柿木線改良工事	・本柿木地区:歩道整備工 L=120.0m	40,500
市道駅前柏久保線改良工事	・柏久保地区:歩道整備工(擁壁工、基礎工) L=30.0m	60,500
その他事業	長寿命化橋梁修繕工事:橋梁修繕工事 7橋梁 桂谷トンネル修繕工事:照明修繕 L=200m オリンピック関連道路修繕工事	199,851
合計		510,851

事業名	東京オリンピック・パラリンピック 関連事業	新規	○	予算額	R3	61,527 千円	担当課 (室)	東京オリンピック・パラリンピック 推進課
		継続						
		拡充			R2	66,965 千円		
		廃止						

1 事業目的

東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技(トラック・レース/マウンテンバイク)伊豆開催(以下「当大会」という)に向けて、観戦客へのおもてなし及び市民への機運醸成等を図り、大会後のレガシー創出に繋げることを目的に事業を実施する。

2 事業概要

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
おもてなし事業	西口広場活用事業・出展イベント運営委託料・空き店舗活用事業・花装飾事業等	10,072
機運醸成事業	周期イベント事業(100日前、50日前イベント) 東京五輪音頭普及事業	3,770
レガシー創出事業	競技会場の聖地化事業・自転車を活用したまちづくり事業・記録資料作成事業等	34,759
聖火リレー事業	オリンピック聖火リレー事業 パラリンピック採火式事業	4,417
パブリックビューイング事業	生きいきプラザ(修善寺総合会館)で開催するパブリックビューイング事業	2,014
情報発信事業	FMIS時報CM	238
観光振興事業	メディア対象交流事業委託料 修善寺駅周辺ガイドマップ作成事業	2,792
本大会支援事業	大会中の組織的対応、運営支援等	2,207
自転車まちづくり広域連携事業	狩野川周辺サイクル事業推進協議会負担金等	1,258
		合計 61,527

令和2年度 オリンピック・パラリンピック 繰越明許事業	33,851
令和3年度 オリンピック・パラリンピック事業	31,947
令和3年度 自転車まちづくり推進事業	29,580
令和2年度 東京オリンピック・パラリンピック各課関連事業 繰越明許	1,814
令和3年度 東京オリンピック・パラリンピック各課関連事業	31,253
	合計 128,445

事業名	産業強化事業	新規	○	予算額	R3	36,914 千円	担当課 (室)	観光商工課																																	
		継続	○		R2	43,176 千円																																			
		拡充																																							
		廃止																																							
<p>1 事業目的 伊豆市内における観光事業の健全な発展と振興及び伊豆市内に事務所を置く事業者の産業振興をはかり、伊豆市の生活、文化及び経済の向上発展をはかる。</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>R3当初予算 (単位:千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【新規】 伊豆市版DMO事業</td> <td>モニターツアーを実施し、アンケート調査により満足度向上の課題を見つける。観光コンテンツを作るとともに、運営を担える主体を見つけ、育てていく。</td> <td>9,800</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>今までの観光誘客事業は、観光関係者のみで行い、旅行会社の総客と行政に依存して行ってきた。この従来からの形から脱却するために、地域住民を巻き込んだ魅力ある観光地域づくりを市民みずから推進するための事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光コンテンツの商品化 令和2年度に企画調整した観光コンテンツのモニターツアーを実施し、商品化を行う。 ・新規コンテンツの造成 新たな観光コンテンツを20コンテンツ造成する。 ・伊豆市のお宝発見ツアーの実施 市民及び観光客に市内の観光資源の良さを体験してもらい、地域の魅力を分かち合うためのモニターツアーを実施する。 </td> </tr> <tr> <td>【新規】 プロモーション事業</td> <td>大河ドラマ放映による誘客促進のため、大河ドラマを中心としたプロモーション及びイベントの実施</td> <td>1,250</td> </tr> <tr> <td>【継続】 メディア活用プロモーション事業</td> <td>神奈川県、埼玉県、千葉県及び全国ケーブルねとワークテレビ等で放映される「いい伊豆見つけた」の番組制作。R3は、4月:修善寺温泉、7月:夏休み特集、1月:梅林等</td> <td>2,470</td> </tr> <tr> <td>【継続】 修善寺駅にぎわい創造事業</td> <td>西口広場を中心としたイベントを3回実施。4月:スプリングフェア、10月:ハロウィンイベント、11月いいづらフェア</td> <td>670</td> </tr> <tr> <td>【継続】 インバウンド対策事業</td> <td>オリンピック・パラリンピック開催を控え、東京メディアセンターにいる外国人記者を対象にファムトリップを3回開催する。</td> <td>1,250</td> </tr> <tr> <td>【継続】 観光入込統計事業</td> <td>日帰り、宿泊客数について四半期ごと統計調査を行い、県に報告する。</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>【新規】 観光調査事業</td> <td>伊豆市を訪れる観光客の属性、流動実態、観光消費額、旅行の目的、満足度等を調査分析し、新たな観光客とリピーターを獲得するための今後の観光施策の基礎資料とする。また、継続的にデータ収集することで観光客の変化、観光施策の効果検証を行う。年4回アンケートの実施を予定。</td> <td>5,600</td> </tr> <tr> <td>【継続】 販路拡大事業</td> <td>商工会と連携し、市内事業者の販売額の増加や新たな販路獲得のための事業を実施する。</td> <td>530</td> </tr> <tr> <td>その他事業</td> <td>伊豆市産業振興協議会補助金、出張旅費等</td> <td>15,214</td> </tr> </tbody> </table>									区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)	【新規】 伊豆市版DMO事業	モニターツアーを実施し、アンケート調査により満足度向上の課題を見つける。観光コンテンツを作るとともに、運営を担える主体を見つけ、育てていく。	9,800	<p>今までの観光誘客事業は、観光関係者のみで行い、旅行会社の総客と行政に依存して行ってきた。この従来からの形から脱却するために、地域住民を巻き込んだ魅力ある観光地域づくりを市民みずから推進するための事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光コンテンツの商品化 令和2年度に企画調整した観光コンテンツのモニターツアーを実施し、商品化を行う。 ・新規コンテンツの造成 新たな観光コンテンツを20コンテンツ造成する。 ・伊豆市のお宝発見ツアーの実施 市民及び観光客に市内の観光資源の良さを体験してもらい、地域の魅力を分かち合うためのモニターツアーを実施する。 			【新規】 プロモーション事業	大河ドラマ放映による誘客促進のため、大河ドラマを中心としたプロモーション及びイベントの実施	1,250	【継続】 メディア活用プロモーション事業	神奈川県、埼玉県、千葉県及び全国ケーブルねとワークテレビ等で放映される「いい伊豆見つけた」の番組制作。R3は、4月:修善寺温泉、7月:夏休み特集、1月:梅林等	2,470	【継続】 修善寺駅にぎわい創造事業	西口広場を中心としたイベントを3回実施。4月:スプリングフェア、10月:ハロウィンイベント、11月いいづらフェア	670	【継続】 インバウンド対策事業	オリンピック・パラリンピック開催を控え、東京メディアセンターにいる外国人記者を対象にファムトリップを3回開催する。	1,250	【継続】 観光入込統計事業	日帰り、宿泊客数について四半期ごと統計調査を行い、県に報告する。	130	【新規】 観光調査事業	伊豆市を訪れる観光客の属性、流動実態、観光消費額、旅行の目的、満足度等を調査分析し、新たな観光客とリピーターを獲得するための今後の観光施策の基礎資料とする。また、継続的にデータ収集することで観光客の変化、観光施策の効果検証を行う。年4回アンケートの実施を予定。	5,600	【継続】 販路拡大事業	商工会と連携し、市内事業者の販売額の増加や新たな販路獲得のための事業を実施する。	530	その他事業	伊豆市産業振興協議会補助金、出張旅費等	15,214
区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)																																							
【新規】 伊豆市版DMO事業	モニターツアーを実施し、アンケート調査により満足度向上の課題を見つける。観光コンテンツを作るとともに、運営を担える主体を見つけ、育てていく。	9,800																																							
<p>今までの観光誘客事業は、観光関係者のみで行い、旅行会社の総客と行政に依存して行ってきた。この従来からの形から脱却するために、地域住民を巻き込んだ魅力ある観光地域づくりを市民みずから推進するための事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光コンテンツの商品化 令和2年度に企画調整した観光コンテンツのモニターツアーを実施し、商品化を行う。 ・新規コンテンツの造成 新たな観光コンテンツを20コンテンツ造成する。 ・伊豆市のお宝発見ツアーの実施 市民及び観光客に市内の観光資源の良さを体験してもらい、地域の魅力を分かち合うためのモニターツアーを実施する。 																																									
【新規】 プロモーション事業	大河ドラマ放映による誘客促進のため、大河ドラマを中心としたプロモーション及びイベントの実施	1,250																																							
【継続】 メディア活用プロモーション事業	神奈川県、埼玉県、千葉県及び全国ケーブルねとワークテレビ等で放映される「いい伊豆見つけた」の番組制作。R3は、4月:修善寺温泉、7月:夏休み特集、1月:梅林等	2,470																																							
【継続】 修善寺駅にぎわい創造事業	西口広場を中心としたイベントを3回実施。4月:スプリングフェア、10月:ハロウィンイベント、11月いいづらフェア	670																																							
【継続】 インバウンド対策事業	オリンピック・パラリンピック開催を控え、東京メディアセンターにいる外国人記者を対象にファムトリップを3回開催する。	1,250																																							
【継続】 観光入込統計事業	日帰り、宿泊客数について四半期ごと統計調査を行い、県に報告する。	130																																							
【新規】 観光調査事業	伊豆市を訪れる観光客の属性、流動実態、観光消費額、旅行の目的、満足度等を調査分析し、新たな観光客とリピーターを獲得するための今後の観光施策の基礎資料とする。また、継続的にデータ収集することで観光客の変化、観光施策の効果検証を行う。年4回アンケートの実施を予定。	5,600																																							
【継続】 販路拡大事業	商工会と連携し、市内事業者の販売額の増加や新たな販路獲得のための事業を実施する。	530																																							
その他事業	伊豆市産業振興協議会補助金、出張旅費等	15,214																																							

事業名	企業誘致推進事業	新規	○	予算額	R3	32,935 千円	担当課 (室)	観光商工課
		継続	○		R2	11,656 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

市内で創業する事業所等の支援をすることにより市内における業種の拡充をもって雇用の拡大を図る。またサテライトオフィスの活用をはじめ、市内への企業誘致、企業進出を図る。

2 事業概要

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
【新規】 企業立地事業費補助金	<p>市内に土地(1,000㎡以上)を購入し、3年(未造成地は5年)以内に業務を開始する工場や物流施設等のうち、従業員数10名以上の企業等に対し、土地取得費の20%(成長分野は30%)と市民の新規雇用1名につき100万円を補助。限度額2億円(成長分野は3億円) ※市補助金の1/2を県が負担</p> <p>積算内容 対象者:株式会社ナチュラルキッチン(牧之郷地区工場移転 R3:10月開店予定) 土地購入補助 73,485千円×20%=14,697千円(県費7,348.5千円) 市内雇用者増に係る補助 1,000千円×8名=8,000千円(県費4,000千円) 参考:建築費はナチュラルキッチンに直接県が補助</p>	22,697 (県費 11,348)
【継続】 創業者等支援事業補助金	<p>地域の産業、経済の活性化及び空き店舗の解消に寄与するため市内で営利を目的として事業を営む方に対して事業所の家賃経費及び設備購入経費の一部を補助する。</p> <p>予算(5,400千円) ・家賃補助 50千円×12ヶ月×4件 = 2,400千円 ・設置工事費及び設備購入費補助(店舗リフォーム) 500千円×6件 = 3,000千円</p>	5,400
【継続】 その他事業	企業立地審議会事業、サテライトオフィス事業、各種負担金等	4,838
合計		32,935
うち新規		22,697
継続		10,238

事業名	わさびの郷構想推進事業	新規		予算額	R3	3,959 千円	担当課 (室)	農林水産課
		継続	○		R2	5,990 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

「静岡水わさびの伝統栽培」が世界農業遺産に認定され、観光客増加、環境保全等、生産面以外の対応も含めた、わさびに関連する需要の高まりに対応するため、わさびを通じた地域振興に関連する総合的な指針として策定した「わさびの郷構想」に関連した事業を推進していくことを目的とする。

わさびの郷構想における4つの基本方針

I 地域の活性化

- ・わさびの利用促進
- ・市民活動の活性化
- ・プロモーション事業
- ・グリーンツーリズム事業

【R3】
PVの作成等、メディアの有効活用について検討。
【R4以降】
メディアの活用を検討し、筏場のわさび田の四季の風景や調理方法を動画にまとめる等、広報事業を展開する。

II わさびの生産振興と継承

- ・担い手の育成確保
- ・基盤整備
- ・生産性の向上
- ・戦略的な販売
- ・技術の継承

【R3】
苗の安定供給を当面の最重要課題とし、農業振興会補助金(農業振興対策事業)によりわさび部会への補助を拡充する。組合に対し、新規品種の購入費を単年補助としていたが、複数年の補助制度に拡充。(既存品種約300種)
R3:3,200千円(農業振興会補助金・わさび部会分)
【R4以降】
担い手の育成や技術の継承はわさび生産の根幹であるが、喫緊の課題とはせず、地域おこし協力隊事業と掛け合わせ課題解決に取り組む。

III 自然環境の保全と景観形成

- ・わさび田の保全活動
- ・周辺環境の保全
- ・災害の防止と対応強化

【R4以降】
生産資材である寒冷紗や落水による生育防止に使用するトン等について統一基準を設け、景観の維持向上を図る。R3は生産者と協議を進め、統一すべき資材等について制度設計を進める。

IV 拠点の整備とネットワークの形成

- ・拠点地域の整備
- ・拠点施設の整備
- ・ネットワークの形成
- ・組織の連携強化

【R3】
施設の整備方針を引き続き検討する。
【R4以降】
わさび生産者等地元との協議により施設整備の必要性和設置する場合の運営方法、場所等を検討する。

本事業はわさびの郷構想に基づく4つの基本方針の中、特に重点的に取り組む施策を令和3年度から具体化し実施する。また畑わさびの試験栽培はR1年度から取り組み、市内生産者と協働し遊休農地対策として耕作放棄された畑を有効活用する術を本事業内で推進する。

事業名	いずっこ健全育成事業	新規		予算額	R3	2,561 千円	担当課 (室)	社会教育課
		継続	○		R2	2,648 千円		
		拡充	○					
		廃止						

1 事業目的

令和2年に策定した「伊豆っ子宣言」を活用してふるさと感を醸成する講座や活動を行うことにより、ふるさとへの誇りや郷土愛を育む。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【継続】 ふるさと学級	市内小学校4年生から6年生までを対象として市内の様々な資源を活用した教室を開催することで地域の自然や食べ物、産業などを知る機会を提供する。 【開催予定教室】 ・アウトドアワーク(自然観察・キャンプ・カヌー他) ・歴史、社会体験 ・集団行動	500
【拡充】 伊豆っ子宣言	伊豆っ子宣言に基づく事業に参加した児童に対し、個々の体験を記録し、多くの事業への参加を促す。	200
【継続】 その他各種事業	青少年問題協議会、青少年健全育成大会、家庭教育推進協議会など各種事業の開催や活動を通して伊豆市の青少年健全育成を行う。 ・修善寺駅街頭キャンペーン ・冬季声掛け運動 ・青少年健全育成大会開催 ・市子ども会育成連合会補助金	1,861
合 計		2,561
内、継続分		2,361
拡充分		200

事業名	文学のふるさと事業	新規	○	予算額	R3	81,890 千円	担当課 (室)	観光商工課 社会教育課
		継続	○		R2	2,281 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

湯ヶ島地区の文学的資産を活用した「湯ヶ島地区文学の郷構想」を具現化することにより、地域への愛着や誇りを醸成し、文学のふるさと天城をPRする。

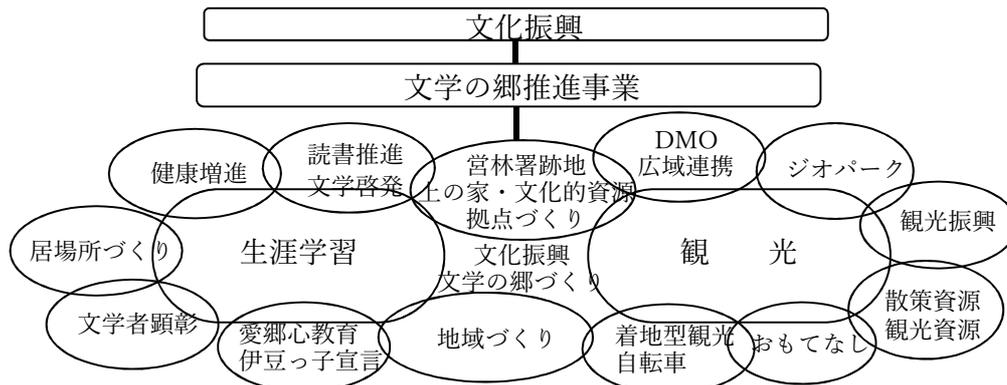
2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【継続】 営林署跡地整備事業 (観光商工課)	「しろばんば」にも登場する営林署跡地を湯ヶ島地区の賑わい創出につながる拠点として活用するため公園を整備する。	69,960
【継続】 上の家利活用事業 (社会教育課)	「しろばんばの世界の追体験」と地域の憩いの場として上の家の利活用を進める伊豆市観光協会天城支部に対し支援を行う。 ・上の家整備事業補助金: 10,300千円 ・上の家利活用事業負担金: 500千円	10,800
【継続】 井上靖関連事業 (社会教育課)	伊豆市にゆかりの深い文豪井上靖の資料館管理及びコンクール開催に関する事業を実施する。 ・井上靖資料室管理委託: 240千円 ・井上靖コンクール周知及び冊子作製: 191千円 ・音響照明業務委託料: 150千円 ・その他経費: 199千円	780
【新規】 文化振興事業 (社会教育課)	湯ヶ島地区の文学的資産を伝えるためガイドの養成及び周辺マップを作製する。 ・湯ヶ島地区ガイド養成講座委託料: 150千円 ・湯ヶ島地区文学の郷マップ作製委託料: 200千円	350
合計		81,890
うち新規		350
継続		81,540

文学の郷推進事業

生涯学習と観光誘客の両輪で湯ヶ島のソフト事業を推進する。



事業名	観光施設整備事業	新規	○	予算額	R3	165,732 千円	担当課 (室)	観光商工課
		継続	○		R2	93,427 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

伊豆市の主力産業は観光業であり、市有観光施設の整備・維持補修により観光客にとっての安全な利用及び魅力を提供することから観光振興の下支えをする。

2 事業概要

区分	主な観光施設整備内容	R3当初予算 (単位:千円)
【新規】 竹林の小径竹垣改修工事	現状: 令和2年7月豪雨や12月の寒波により、全体が倒れかかっている状態。ミシュラン2つ星の有資格施設であり、修善寺温泉ブランド維持に直結する修繕。	3,179
【新規】 土肥屋形区公衆トイレ改修工事	地元屋形地区からの要望により整備。観光客利用により汚れる和式トイレを洋式化する。	1,309
【新規】 恋人岬遊歩道亀裂箇所修繕	ウッドデッキに続くアスファルト歩道(赤道)に亀裂が入っており、側面の崖とともに崩落しかかっている箇所があるため、舗装修繕をする。	1,287
【継続】 旭滝園地整備工事	大平地区の旭滝整備計画(3カ年)に基づきR2は転落防止策を整備し、R3は滝のライトアップ用の照明を整備する。R4はスロープの改修等を予定している。	5,000
【新規】 御幸橋トイレ新築工事	御幸橋駐車場にユニバーサルデザインのトイレを整備する。観光バス利用者により乗降時に多人数の仕様が想定される。	26,334
【新規】 御幸橋駐車場関連工事	御幸橋駐車場において区画線の修繕やゲートの設置工事を行う。	3,755
【新規】 旧営林署跡地整備工事	文学の郷構想の中心に位置し、しろばんばの舞台である湯ヶ島上の家に隣接する旧営林署跡地に展望台や観光案内板を設置し、芝生公園化する。	69,960
その他事業	観光施設に係る維持管理費、借地料、各種負担金等	54,908
合計		165,732
うち新規		105,824
うち継続		59,908

事業名	地域おこし協力隊推進事業	新規		予算額	R3	29,785 千円	担当課 (室)	農林水産課
		継続	○					
		拡充	○		R2	24,377 千円		
		廃止						

1 事業目的

地域の活性化や産業振興を図るため、地域外の人材を積極的に誘致し、地域における活動を通じてその定住や地域力の維持・強化を推進する。総務省の特別交付税による財政支援事業。都市地域から過疎地域等へ住民票を異動し生活拠点を移した者を「地域おこし協力隊」として自治体が委嘱する。

2 事業概要

【農業部門】

わさび農家として新規就農を目指し、2名の隊員が研修に励んでいる。
隊員1名は令和4年12月に卒業し新規就農予定。

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
報償	協力隊隊員への報償【拡充】	4,117
	隊員研修先農家への謝礼	735
助成金	隊員生活費助成、研修の必要経費助成	2,730
	地域おこし協力隊任期終了前後の1年の隊員が市内で起業するにあたり、設備費、法人登記経費、知的財産登録経費、マーケティング経費、技術指導受入経費等を補助する。	1,000

【林業部門】

食肉加工及び狩猟、シカ皮等加工、森林プランナーの3名の隊員が研修に励んでいる。
隊員1名は令和3年12月に卒業予定(シカ皮加工)。

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
報償	協力隊隊員への報償【拡充】	8,950
委託料	協力隊活動推進業務委託料(募集・支援)	3,800
	シカ皮なめし委託料	550
助成金	隊員生活費助成、研修の必要経費助成	5,895
	地域おこし協力隊任期終了前後の1年の隊員が市内で起業するにあたり、設備費、法人登記経費、知的財産登録経費、マーケティング経費、技術指導受入経費等を補助する。	1,000

事業費 総計 29,785

事業名	湯ヶ島まちづくり構想策定事業	新規		予算額	R3	1,500 千円	担当課 (室)	都市計画課
		継続	○		R2	10,000 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

伊豆縦貫自動車道の計画区間において、茅野地区周辺に中間インターチェンジが計画されていることから、インターチェンジ周辺の土地利用構想を検討・計画し、浄蓮の滝などの周辺地域資源の活用や自然と調和した住環境の整備をすることで、インターチェンジの効果を周辺地域に波及させる。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
湯ヶ島まちづくり構想策定業務	まちづくり計画策定のため地元との調整業務	1,500

3 今後のスケジュール

湯ヶ島まちづくり構想

時期	内容		市負担額	
R 1	基本構想策定	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな拠点整備構想作成 ・推進エリア基本計画策定 ・まちづくりWS支援 	C=5,000	
R 2	ふじフロ申請		C=10,000 (3,000)	
R 3	基本計画策定	<ul style="list-style-type: none"> ●基本計画 R2 C=3,000 ・ゾーニング設計 ・地元調整 R3 C=4,500 ・地元調整 ●用地調査、用途地域検討等C=4,000 	線越 (7,000) C=1,500	
R 4	<ul style="list-style-type: none"> ●測量調査 C=10,000 ●区画整理事業調査 C=15,000 ・設計 ・事業計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> ●地元調整 ●関係機関下協議 ●デベロッパーへの情報提供、説明 (基本計画に基づく、民間活力の模索) 	C=25,000	
伊豆縦貫自動車道事業の進捗状況に合わせて	<p>ケース1</p> <p>地元理解：高、民間活力：有</p> <p>民間開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業を施行者とした個人施行の土地区画整理など(状況によって地区計画策定) ・公共施設管理者負担金(市道拡幅分) <p>※道路事業直接買収との併用もあり得る</p>	<p>ケース2</p> <p>地元理解：高、民間活力：無</p> <p>土地区画整理組合施行 (又は個人施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画決定(関係資料作成) ・換地設計(換地計画) ・実施設計 ・造成 ・公共施設管理者負担金(市道拡幅分) 	<p>ケース3</p> <p>地元理解：低、民間活力：無</p> <p>道路事業直接買収</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉(道路事業) ・基本計画に沿った代替地の提案(用地補償費による造成、移転) ・状況に応じて市道拡幅 <p>※道路部以外の農地転用不可</p>	C=

事業名	立地適正化計画基礎調査事業	新規	○	予算額	R3	6,200 千円	担当課 (室)	都市計画課
		継続						
		拡充						
		廃止						
					R2	— 千円		

1 事業目的

人口減少と高齢化を背景として、生活拠点に都市機能を集約する立地適正化計画を策定することにより、財政面及び経済面において持続可能なまちづくりを行う伊豆市型コンパクト&ネットワーク構想を実現する。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
立地適正化計画基礎調査業務	<ul style="list-style-type: none"> 国作成マニュアルに基づくGIS等を用いた各種データの重ね図作成、定量分析 国、県関係機関協議(都市、農業)技術支援、図面作成 	6,200

3 事業スケジュール

年度	事業費	国 費	主な実施事項
R 3	6,200千円	5,500千円 ※定額補助 (上限5,500千円)	<ul style="list-style-type: none"> 国作成マニュアルに基づくGIS等を用いた各種データの重ね図作成、定量分析 国・県関係機関協議(都市、農業)技術支援・図面作成
R 4	4,700千円	2,350千円 ※1/2補助	<ul style="list-style-type: none"> 都市機能誘導区域、居住誘導区域等(案)の設定 防災指針(案)の作成 用途地域設定・地区計画策定に係る下協議資料・図面作成
R 5	4,600千円	2,300千円 ※1/2補助	<ul style="list-style-type: none"> 法定計画策定 委員会(協議会、庁内幹事会)運営支援 法定手続・協議に係る図書・図面作成支援

※R4年度以降の業務に係る実施の可否については、各年度の当初予算要求・査定における財政協議を経て決定する。

事業名	旧土肥小学校利活用事業	新規	○	予算額	R3	81,800 千円	担当課 (室)	総合戦略課
		継続			R2	6,000 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

平成30年度に策定した活用構想に基づき、令和2年度は地域へのお試し活用を継続するとともに、活用事業者の公募を実施し、リングロー株式会社を契約候補者として選定した。令和2年度末までにリングロー株式会社や地域との調整を進め、基本協定を締結し、令和3年度は建物の用途変更等に係る施設改修を行う。

2 事業概要

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
【新規】 設計監理業務委託料	土肥小学校改修工事の設計及び工事監理を委託業務により行う。	8,800
【新規】 マネジメント支援業務	事業者との具体的な調整支援及び地元協議会支援及び住民周知支援を行う。	5,000
【新規】 改修工事	土肥小学校の利活用事業者に決定したリングローと調整し、必要な校舎整備を行う。	68,000
合計		81,800

【概略スケジュール】

令和2年度: 民間事業者の募集、選定・特定事業者との協議(協定、施設管理・改修)
基本協定の締結

令和3年度: 施設改修工事

令和4年度: リングロー株式会社による利用開始(※早ければ令和3年度中に開始)

【R3年度実施内容】

リングロー株式会社との工事範囲等の調整を行いながら、旧土肥小学校の改修工事を実施。

事業名	地域づくり交付金事業	新規		予算額	R3	53,795 千円	担当課 (室)	総合戦略課
		継続	○					
		拡充			R2	48,290 千円		
		廃止						

1 事業目的

地域の賑わいの創出に特に寄与する交流事業を実施する地域づくり団体に対し、その事業を実施するために要する経費の一部を補助する

2 事業概要

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
湯ヶ島地区地域づくり協議会	地域の賑わい創出に寄与する事業について、以下の基準で交付する。 ①地域づくり交付金 上限5,000千円 ②地域づくり交付金(ふるさと納税上乗せ分)※ 各地域づくり協議会を応援目的とした寄附額 *60%を上乗せ交付する。上乗せ分は有効期限5年。	11,820
		うち上乗せ分 6,820 ※
西豆地区地域づくり協議会		7,910
		うち上乗せ分 2,910 ※
土肥・小土肥地域づくり協議会		7,960
		うち上乗せ分 2,960 ※
八岳地域づくり協議会		5,240
		うち上乗せ分 240 ※
熊坂小学区地域づくり協議会		5,695
		うち上乗せ分 695 ※
月ヶ瀬学区地域づくり協議会	5,040	
	うち上乗せ分 40 ※	
大東地域づくり協議会	5,130	
	うち上乗せ分 130 ※	
中大見地域づくり協議会	5,000	
	うち上乗せ分 0 ※	

事業名	花いっぱい事業	新規		予算額	R3	4,309 千円	担当課 (室)	農林水産課
		継続	○		R2	5,047 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

地域ぐるみや有志で実施する植栽活動、環境美化活動、青少年育成活動、世代間交流活動、さらに生涯学習推進活動を通じて、市民参画による花いっぱいのまちづくりを推進する。年2回(夏・春)の地域への花苗・種子・球根・緑化木の配布により、市内を花で飾るとともに、花に触れ花を育む事業を展開していく。

2 事業概要

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
【継続】 花いっぱい事業	<ul style="list-style-type: none"> 花いっぱいのまちづくり運動資材配布 (各団体への花苗・緑化木・種子等の配布) 花づくり事業への助成(市花の会・市内各団体・地区) 修善寺駅周辺の花飾り 	1,246
【継続】 市花の会活動補助事業	<ul style="list-style-type: none"> 支部活動の助成 花壇づくり講習会の実施 ふじのくに花の都しずおか県民大会への参加 ※2年度で中伊豆支部が解散し、土肥支部のみの活動となる。市としての花の会の存続については今後役員と協議して決定する。	300
【継続】 地区花づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備及び住民が憩う花の名所づくりの推進 観光客等への花による「おもてなし」 ※新規花壇の整備、活動に必要な資材を保管するための倉庫の設置等に必要な資金の一部を、予算の範囲内で事業に要する経費の3分の2以内、限度額20万円までを交付する。	300
【継続】 花と緑のおもてなし空間整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 修善寺駅周辺の花飾りについて(ハンギングバスケット、プランター、モニュメントの設置) 事業推進協議会の開催(年3回) 花飾りの植え替え、日常管理の実施 	2,463
合 計		4,309

【東京五輪関連事業】

オリンピックの都市装飾としてH30から重点的に修善寺駅の花装飾を実施。H30にはハンギングバスケットの設置を行い、R1には灌水整備を行った。五輪後は修善寺駅周辺の装飾は簡素化する。

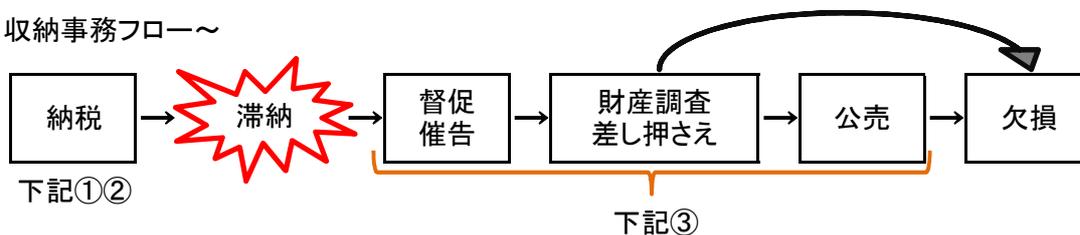
事業名	収納率強化事業	新規	○	予算額	R3	14,956 千円	担当課 (室)	税務課
		継続	○					
		拡充			R2	10,189 千円		
		廃止						

1 事業目的

納税に係る利便性を向上させて滞納の軽減を図る。
 また、滞納となった場合でも早期の納税を促し、それでも納税に繋がらない場合には財産の差し押さえなど厳格な対応をすることで収納率の増加を図る。

2 事業概要

～収納事務フロー～



①徴収体制の見直しによる滞納整理体制の強化

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
【新規】 (仮称)滞納整理対策チームの設置	徴収事務経験のある会計年度任用職員を雇用するとともに、税務課内に「(仮称)滞納整理対策チーム」を設置し、滞納整理体制を強化する。	2,573

②納税方法の多様化による利便性の向上

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
【継続】 コンビニ収納・モバイル収納	・全国のコンビニエンスストアでの納税 ・LINEペイ、PayPayによる納税(R2年度より実施)	1,959

③滞納者への対応

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
【継続】 滞納者電話催告事業	・契約期間 平成29年3月～令和3年2月 オペレーター2名・平日 月/16日・休日 月/1日 6時間/1日	4,314
【継続】 インターネット公売	・不動産鑑定料 土地建物・更地 ・美術品等鑑定料 公売2回分 ・検索時間開錠者技術料 検索3回分 ・インターネット公売 不動産2件・動産2件	396
【継続】 静岡地方税滞納整理機構	・静岡地方税滞納整理機構負担金 困難、悪質、多額の滞納者の徴収業務を機構に移管し、滞納処分を中心に滞納整理を行う	5,714
合計		14,956

事業名	市営住宅管理事業(滞納整理)	新規		予算額	R3	452 千円	担当課 (室)	用地管理課
		継続	○		R2	452 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

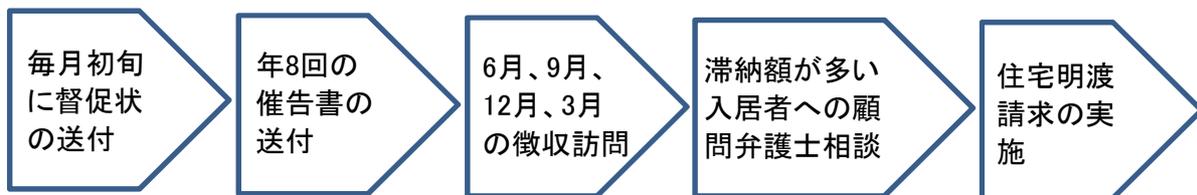
市営住宅使用料の滞納額を減らすため、滞納整理方法を見直す。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
報償費	弁護士訴訟謝礼 高額滞納者で納付のない悪質な滞納者について、顧問弁護士に相談し住宅明渡請求を行う。	420
郵便料	催告書の送付頻度を増加する。(3回/年⇒8回/年)	8
訴訟手数料	明渡訴訟のための手数料	24
合計		452

3 滞納整理スケジュール



4 滞納額の推移

(単位:円、%)

	年度	調定額	納入額	繰越額	徴収率
現 年 分	H27	60,097,700	58,376,000	1,721,700	97.1
	H28	61,750,900	59,870,800	1,880,100	97.0
	H29	59,658,100	58,517,700	1,140,400	98.1
	H30	59,293,800	57,571,500	1,722,300	97.1
	R1	56,408,200	55,215,600	1,192,600	97.9
過 年 分	H27	14,129,100	1,147,100	12,982,000	8.1
	H28	14,703,700	1,220,700	13,483,000	8.3
	H29	15,363,100	1,062,100	14,301,000	6.9
	H30	15,441,400	1,332,600	14,108,800	8.6
	R1	15,831,100	2,189,000	13,642,100	13.8

事業名	ふるさと納税促進事業	新規		予算額	R3	337,259 千円	担当課 (室)	財務課
		継続			R2	234,666 千円		
		拡充	○					
		廃止						

1 事業目的

伊豆市へふるさと納税の寄附をしていただくことにより、自主財源の確保に加えて返礼品提供による市内経済の活性化及び伊豆市の魅力を多くの人に感じてもらうことを目的とする。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
報酬等	ふるさと納税の返礼品発注等の事務担当として会計年度任用職員(パートタイム)を配置する。	1,595
返礼品	令和3年度の目標寄附額を8億円として、寄附額の3割相当の返礼品を計上する。	240,000
広告業務	○伊豆市の寄附者の傾向から、首都圏在住者が多く購読する新聞への折り込み広告を掲載する。 ・タブロイド紙広告(読売・日経へ11月、12月の2回掲載) ○幅広い年代への広告として、LINEへの公式アカウントを開設し、ふるさと納税の情報を発信する。	4,116
【拡充】 システム使用料	ふるさと納税のポータルサイトの掲載使用料 ※ポータルサイト使用割合(R1実績より) ふるさとチョイス:40% さとふる:30% 楽天:10% ふるなび:20%(新規開設)	91,548
合計		337,259

3 寄附額の実績と見込

(単位:千円)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
予算額	230,000	300,000	400,000	650,000	600,000	800,000
寄附額	224,492	259,058	396,775	612,615	542,911	—

※R2の寄附額は12月末現在までの額

事業名	戦略的プロモーション事業 (シティセールス部門)	新規	○	予算額	R3	1,639 千円	担当課 (室)	総合戦略課
		継続			R2	- 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

人口減少などによる将来の歳入減少を見据え、積極的なシティセールスを行い稼ぐ力を養う。

2 事業概要

令和3年度に専業となる営業担当職員を初期設置して具体策を検討し、実施していく。

区分	内容	R3当初予算 (単位:千円)
【新規】 シティセールス旅費	民間企業等に対する積極的な営業活動 ・企業版ふるさと納税の推進 ・サテライトオフィスなどを含む企業誘致 ・ネーミングライツなどの広告獲得	1,399
【新規】 シティセールス消耗品	営業活動において必要となる市の特産品など	240
合計 (全て新規)		1,639

事業名	広域廃棄物処理施設整備事業	新規		予算額	R3	2,143,390 千円	担当課 (室)	環境衛生課
		継続	○		R2	386,757 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

伊豆の国市と共同で建設する「新ごみ処理焼却施設」の準備を進めている「伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合」への負担金を支出する

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【継続】 伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合負担金	・R3年度 2市の負担金総額 4,781,683千円 (事業内容) 工事 施工監理 ・伊豆市分 負担割合 ①均等割 50% 1,195,421千円 ②ごみ量割 50% 947,969千円	2,143,390
合計 (全て継続)		2,143,390

3 事業スケジュール

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
用地関係	用地決定						
生活環境影響調査				生活環境影響調査 ・現地調査(悪臭・騒音・振動) ・予測評価	報告書作成 ・縦覧		
各種調査			測量調査 ・地形測量	地質調査 ・地質調査			
計画・設計		施設基本構想 ・循環型社会形成地域計画策定 一とりまとめ、組合 ・処理対象廃棄物の決定 ・処理内容の検討	施設基本計画 ・整備規模の算定 ・事業計画の策定 ・配置計画の検討	リサイクルセンター基本設計・焼却施設解体設計 ・見積仕様書作成 ・見積徴集 ・造成設計 ・解体設計 ・PFI導入可能性調査 ・事業方式最終決定	ダイオキシン類調査 ・発注図書作成 ・発注手続き		
工事						建設工事	
その他手続き等		循環型社会形成地域計画書提出	交付金内示 ・交付金申請	交付金内示 ・交付金申請	交付金内示 ・交付金申請 ・業者選定	交付金内示 ・交付金申請	交付金内示 ・交付金申請

事業名	施設の適正配置	新規	○	予算額	R3	224,295 千円	担当課 (室)	防災安全課 観光商工課 用地管理課 社会教育課	
		継続	○		R2	-			千円
		拡充	○						
		廃止	○						

1 事業目的

老朽化等により市有施設を解体することにより、経費の節減及び市有施設の適正化を図る

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【廃止】 消防団宿詰所 解体 (防災安全課)	県の指定する緊急輸送路沿いの消防団宿詰所(天城)について、現在の耐震基準を満たしていないことから解体する。	4,378
【継続】 虹の郷借地解 消事業 (観光商工課)	借地していた虹の郷の土地を購入する。 購入面積:83,264.17㎡ 土地購入費:58,285千円 立木補償費:5,135千円 用地交渉委託料:12,042千円 交渉のための旅費:824千円	76,286
【新規】 市営住宅転居 補償 (用地管理課)	老朽化した市営住宅を処分するため、現在入居者が他の住居に転居する際に生じる費用を補償する。 200千円/件×2件分=400千円	400
【廃止】 修善寺体育館 解体 (社会教育課)	耐震不足と伊豆市公共施設再編計画において廃止と判断されているのを受け、令和2年3月に閉館している修善寺体育館を解体する。	110,000
【拡充】 修善寺グラウン ド照明塔LED化 (社会教育課)	修善寺グラウンドの照明塔を水銀灯からLED化することにより、電気料の削減、キュービクル撤去による点検費用の削減など、経費の削減が見込まれる。 ※スポーツ振興くじ助成金を活用予定(事業費の2/3)	33,231
合 計		224,295
内、新規分		400
継続分		76,286
拡充分		33,231
廃止分		114,378

事業名	事務事業の見直し	新規	○	予算額	R3	5,207 千円	担当課 (室)	総務課 税務課 環境衛生課
		継続						
		拡充	○		R2	- 千円		
		廃止	○					

1 事業目的

既存事業の見直しや事務をシステム化することで事務が効率化され、時間外手当の削減など経費の縮減を図る。

2 事業概要

(単位:千円)

区分	内容	R3当初予算
【新規】 議事録作成システム導入 (総務課)	AIの技術を活用したシステムを導入し、システムにより議事録を作成することにより、事務の効率化を図る。	3,410
【新規】 行政用チャットシステム導入 (総務課)	職員間の情報共有や現場状況の報告に際し、厳しい運用ルールが設けられているLGWAN-ASPの行政専用チャットアプリを利用し、セキュリティの強化を図る。また、OA系パソコンと連携可能なため、現場報告などが容易に文書サーバに保存することができるため、業務の効率化が図られる。 ※250ライセンス分導入予定	1,320
【新規】 総合的アウトソーシングの検討 (総務課)	・地方自治体公民連携研究財団の協力の下、総合的なアウトソーシングについて、その実施を検討する。 ・窓口業務及びバックヤードのアウトソーシング化を検討する。	-
【拡充】 職員採用試験の見直し (総務課)	・従来の統一試験日から独自試験日による採用試験を実施し受験者数の確保を図る。 ・試験内容を教養試験からSPI3やSCOA等の基礎能力試験を導入し、新卒者、既卒者を問わず全世代を対象とした試験科目を実施する。 ・採用試験問題集:37千円 ・採用試験検査委託料:440千円	477
【廃止】 確定申告における税理士派遣の廃止 (税務課)	確定申告事務の軽減と専門知識の活用を目的に税理士の確定申告会場への派遣委託を実施してきたが、目的に対する効果が見られないため令和3年度から廃止とする。 【参考】 R2年度確定申告税理士業務委託料:330千円	-
【廃止】 住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付事業の廃止 (環境衛生課)	再生可能エネルギーの活用を推進するため、住宅用太陽光発電システムの導入費用の一部に対し補助金を交付していたが、普及が進み設備価格が低廉化したため当初の目的は達成した。県や近隣市町も事業を終了しているのを踏まえて令和3年度から廃止する。 【参考】 R2住宅用太陽光発電システム設置費補助金:2,000千円	-
合 計		5,207
内、新規分		4,730
拡充分		477